

---

# 大学教育学会ニュースレター

No.123 2023.04.26

---

一般社団法人大学教育学会 (Japan Association for College and University Education)

事務局：〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原 2-8-20-204

TEL/FAX：(042) 707-8112

郵便振替口座：00210-9-102857 一般社団法人大学教育学会

E-mail: office@jacue.org URL: <http://jacue.org>

---

## 大学教育学会第45回大会を開催するにあたって

大学教育学会第45回(2023年)大会

大会実行委員長 田中 敏宏

今年の6月3日(土)と4日(日)の両日、大学教育学会第45回大会を、大阪大学吹田キャンパスで開催させて頂くことになりました。政府は5月8日に、新型コロナウイルスの感染症上の位置づけを5類に移行する方針を出しており、今回の大会も昨年同様、対面開催を行います。基調講演とシンポジウムに関してはオンラインの併用で行う予定です。大会実行委員会といたしましては、対面開催によって、知的創発を促し、会員同士の親交が深まり、学問的な絆の価値が再確認される大会になるよう、大会企画委員会ならびに学会事務局の全面的な支援のもと、鋭意準備を進めております。

統一テーマは、「ポストコロナ時代の高大接続」です。コロナ禍、受験制度改革、学習指導要領の改訂がもたらした変化が、高大接続をどのようにアップデートしていくのか、大学教育のイノベーションにどのようなインパクトを持つのかを考える場にできればと思います。

基調講演は、新学習指導要領の改訂に中心的に関わられた、文化庁次長の合田哲雄氏にお願いしております。シンポジウムには、教育学における接続研究の第一人者である山梨大学副学長の清水一彦先生、小学生から高校生までに無料で授業動画を配信している教育 YouTuber の葉一(はいち)氏、世界最先端の科学技術教育を高校生向けに提供するプログラム(SEEDS)の責任者である大阪大学の阪口篤志先生をお迎えいたします。多彩な登壇者から創造的な議論がなされることが期待されます。

大阪大学では、2022年に、デジタル技術を最大限に活用して学習者本位の教育の推進と教育の質保証の更なる充実を企図して、高大接続部(含むSEEDS オフィス)、入試広報・入試開発部、教学DX部、教学支援部、教学質保証部、キャリア教育部及び教学IR・教学データ基盤部の7部からなるスチューデント・ライフサイクルサポートセンターを立ち上げました。これにより、データに基づいた個別最適学生・学習支援を入学前から卒業後・修了後まで本学学生一人ひとりに提供すること、蓄積したデータや情報を分析することで大阪大学の教育成果を短期のみならず中長期的にも可視化することが可能となり、本学の教育への社会からの理解と支援の向上を目指しています。高大接続部においては、大学進学を希望する高校生や高等学校関係者のみなさんに、大学の教育・研究内容を知っていただくための活動や、意欲的な高校生に早期から大学の研究に触れてもらうプログラムの提供および、高校教員向けに探究学習の指導・支援を行っています。

大阪大学での学会大会の開催は、1980年の第2回大会以来、実に43年ぶりと聞いております。今回の会場は、当時の会場である人間科学部がある吹田キャンパスとなります。また、人間科学部は、大学教育学会の初代会長である扇谷尚教授が所属されていた場所でもあります。会員の皆様が学会創設当時に思いを馳せる大会になりますよう準備をさせていただくと同時に、実行委員会一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

# 大学教育学会第45回(2023年)大会

## 統一テーマ「ポストコロナ時代の高大接続」

### 1. 開催期日、形式および会場

- 期日 2023(令和5)年6月3日[土]、6月4日[日]
- 形式 対面形式(基調講演・シンポジウムのみ同時オンライン配信あり。会員は無料で視聴可能。)  
※ 新型コロナウイルス感染状況により、変更となる可能性があります。  
※ 会員には5月最終週にメールでオンライン配信に関する情報を送付します。
- 会場 大阪大学 吹田キャンパス 大学院工学研究科(大阪府吹田市山田丘2-1)  
参加受付:吹田DonDon(生協)  
初めて参加する人のためのオリエンテーション:U3棟 U3-211教室  
ラウンドテーブル:C1棟、M1棟、R1棟、U2棟  
事業報告会・開会行事・基調講演・シンポジウム:U3棟 U3-211教室  
自由研究発表:R1棟、U2棟  
企業展示:吹田DonDon(生協)

#### 第1日:6月3日[土]

8:45 10:00 12:00 13:15 13:45 14:10 15:00 15:10 17:30

受付		ラウンド テーブル	昼食 理事会	事業 報告会	開会 行事	基調講演 (※)	シンポジウム (※)
----	--	--------------	-----------	-----------	----------	-------------	---------------



9:00-9:45 初めて参加する人のためのオリエンテーション

- 8:45 - 受付開始
- 9:00 - 9:45 初めて参加する人のためのオリエンテーション
- 10:00 - 12:00 ラウンドテーブル
- 12:00 - 13:15 昼食  
理事会(12:15-12:55)
- 13:15 - 13:45 事業報告会
- 13:45 - 14:00 開会行事(会長挨拶、実行委員長挨拶)
- 14:10 - 15:00 基調講演
- 15:10 - 17:30 シンポジウム
- ※基調講演とシンポジウムは、会員限定で同時オンライン配信あり

#### 第2日:6月4日[日]

10:00 12:00 13:00 15:00

自由研究発表I	昼食	自由研究発表II
---------	----	----------

- 10:00 - 12:00 自由研究発表I
- 12:00 - 13:00 昼食
- 13:00 - 15:00 自由研究発表II

企業展示:6月3日(土)9:00-17:30 6月4日(日)9:30-15:00

会場:吹田DonDon(生協)

## 進行の詳細

6月3日（土）

8:45～ 受付（吹田DonDon（生協））

9:00～9:45 初めて参加する人のためのオリエンテーション

会場： U3 棟 U3-211 教室 担当：事業構想委員会

10:00～12:00 ラウンドテーブル

### テーブル1 通信制大学の教育組織から考える授業の質保証

会場：M1 棟 M1-211 教室

企画者：田口真奈（京都大学）、澁川幸加（中央大学）、寺尾謙（神奈川工科大学）、鈴木克夫（桜美林大学）

趣旨：これまでの大学授業は、教育内容の決定・教材の準備・授業の実施・学生の質問への回答・フィードバック・総括評価までのすべてを教員が1人で担うことが多かった。しかし授業がハイブリッド化されると、そこに職員や専門職の関わりが必要となってくる。教職協働のもと遠隔授業および面接授業を運用する知見は、戦後70年以上の歴史を持つ通信制大学で蓄積されているといえる。本ラウンドテーブルでは、通信制大学における教職員・事務職・専門職といった教育組織や教職協働の内実と、そこでの授業の質保証にむけた取り組みを調査した結果を報告する。また、調査結果から通学制大学における授業の質保証および教育組織の在り方を検討する。

### テーブル2 「女性」リーダーシップ教育開発 ～社会変革志向のリーダーシップ開発に向けて～

会場：M1 棟 M1-212 教室

企画者：和栗百恵（福岡女子大学）、泉谷道子（創価大学）、河井亨（立命館大学）、小山理子（京都光華女子大学）、岡村利恵（お茶の水女子大学）

趣旨：大学教育での「女性」リーダーシップ教育開発においては、既存の社会規範を批判的に問い直し、そこからの変革と新たな創造を生み出す社会変革志向（Transformative）の教育プログラムが求められる。本ラウンドテーブルでは、1）今日の大学教育でのリーダーシップ教育における社会変革志向の潮流を整理する、2）リーダーシップ教育プログラムの効果についての調査結果を提示する、3）女性管理職を対象とした調査から明らかとなった大学におけるリーダーシップ教育の課題を提示する、4）大学教育における社会変革志向のリーダーシップ開発の可能性を提示する、5）最後に到達点と今後の課題を総括する。

### テーブル3 コロナ禍における学寮プログラムの挑戦からの示唆 ―国際比較の視点から―

会場：M1 棟 M1-214 教室

企画者：安部有紀子（名古屋大学）、日暮トモ子（日本大学）、蝶慎一（香川大学）

趣旨：学生寮の教育的機能に着目した取り組みは世界中の潮流となりつつある。一方でその教育的意義の学術的な検討は十分ではなく、教育リソースとして十分活用できているとは言い難い。学生寮に学生が戻り始めた今、各国の学生寮ではそれぞれ異なる環境や制限等を抱えながらも、教育的な学寮プログラムに共通する欠かせない要素や条件について、改めて俯瞰的な視野で整理する必要がある。本ラウンドテーブルでは、日本、東アジア、米国、カナダの調査結果をもとに、コロナ禍の学生寮の様子や、学生の変化、今後の学寮プログラムや活動の方向性等について紹介する。その後、フロアを交えて学生寮の教育的な役割や機能について、議論していきたい。

#### テーブル4 学術性と実務性が交差するインスティテューショナル・リサーチ －IR人材の継続性を担保するには、これから何が必要か－

会場：M1棟 M1-311教室

企画者：森雅生（東京工業大学）、杉原亨（関東学院大学）、井芹俊太郎（神田外語大学）、杉森公一（北陸大学）

趣旨：IRが国内で紹介されて、18年余りが過ぎようとしている。これまで、高等教育領域の研究者を中心として、IRのあり方やデータ分析の実践報告など数多くの研究、それらを踏まえた研修プログラムも多くなされてきた。また、文科省の後押しもあって高等教育機関などでのIR組織の設置が進みつつある一方、それを設置したものの、どのように活用すれば良いかわからないという声も少なからず聞く。このラウンドテーブルでは、IRに見えつつある学術性と、実践に基づいた実務性を踏まえて、IRのあり方（オントロジー）と必要な技能、求められている技術について、登壇者が報告しフロアとともに議論を行う。

#### テーブル5 高大接続における学生の移行の多様性

会場：M1棟 M1-313教室

企画者：松下佳代（京都大学大学院）、田中孝平（京都大学大学院）、大野真理子（京都大学大学院）、武藤浩子（東京大学）、宇田響（くらしき作陽大学）、岡田航平（京都大学大学院）

趣旨：近年、「高大接続のセグメント化」（日本学術会議高大接続を考える分科会）と形容されるように、高大接続の諸側面において細分化・断片化がすすんでいる。本ラウンドテーブルは、その中で学生が経験した高校から大学への移行の多様性を明らかにする。はじめに、松下報告において、高大接続のセグメント化の俯瞰図を描き出し、大野報告において、高・大をつなぐ大学入試のセグメント化の実態について説明する。その上で、田中報告及び武藤報告では難関大学への学生の移行経験を提示し、他方、岡田報告及び宇田報告では、ボーダーフリー大学への学生の移行経験を描き出す。それぞれ、田中・岡田は質的に、武藤・宇田は主に量的に検討を加える。

#### テーブル6 国際認証制度「Healthy Campus」の意義と可能性

会場：C1棟 C1-111教室

企画者：北徹朗（武蔵野美術大学）、小林勝法（文教大学）、田原亮二（西南学院大学）、平工志穂（東京女子大学）、中山正剛（全国大学体育連合研究部／スポーツ庁）

趣旨：学生の健康管理については学校保健安全法や学校環境衛生基準等の法令によって大学でも一定の水準が保たれている。しかし、大学の壁を越えて地域社会に対する啓発活動や推進活動を行っている大学は少ない。ところが、海外では2015年頃から大学の学生と教職員の心身の健康を増進するだけでなく、地域社会やより広い社会の生態系と経済の持続可能性を強化することを視野に入れた取組が盛んになっている。そのために国際会議が開催され国際的な大学連携組織が各地域で誕生している。そこで、国際認証制度であるHealthy Campusの意義について、米国大学保健協会や日本の全国大学保健管理協会の取組も含めて検討し、日本での可能性について検討したい。

#### テーブル7 大学の自律的な経営行動に貢献する事務組織の現状と課題 －私立大学事務局長調査の分析から

会場：C1棟 C1-112教室

企画者：鎌田雅子（中央大学大学院）、中山紘之（岡山理科大学）、山崎その（京都外国語大学）、篠田雅人（早稲田大学）、秦敬治（岡山理科大学）

趣旨：昨年度のラウンドテーブル「大学の自律的な経営行動－事務組織の機能と役割」の議論を踏まえ、アンケート調査を実施した。本調査は私立大学を対象に、自律性の4要素が大学の理念やミッションの達成度などにどのような影響を及ぼしているのかを明らかにすることを目的とした。本企画では、調査結果から明らかになった事務組織の現状把握を行う。2022年に施行された大学設置基準では、「教育研究実施組織」を設けることが規定された。すべての構成員の役割分担と協働が求められる中、具体的な事務職員の働き方に対する関心は高い。多くの大学人との意見交換によ

って、事務職員及び事務組織の実態を明らかにし、今後の課題について検討したい。

#### テーブル8 保健医療福祉系大学における教養教育の問題 (14)

##### ー共通基礎課程コンピテンシー素案 ver3.0 から考えるー

会場：C1棟 C1-211 教室

企画者：志水幸（北海道医療大学）、宮本雅央（北海道医療大学）、町田修三（高崎健康福祉大学）、遠藤良仁（岩手県立大学）、森元拓（東北公益文科大学）、小関久恵（東北公益文科大学）、山下匡将（名古屋学院大学）

趣旨：本ラウンドテーブルでは、保健医療福祉系大学における教養教育の問題について主に理念的・本質論的な観点から議論を積み重ねてきた。そして前回、保健医療福祉分野で議論されている専門教育の共通基礎課程構築に関して、求められるコンピテンシーの現状について議論した。その中で、各種専門職養成教育において人の暮らしを想像する力の重要性を改めて確認し、教養教育の果たす役割について新たな問いを得た。そこで、今回は保健医療福祉系大学における教育課程と共通基礎課程「コンピテンシー素案 ver.3.0」との関連について議論したい。

#### テーブル9 アジア新興国における研究大学像の模索

会場：C1棟 C1-212 教室

企画者：戸田千速（東京大学大学院）、釜我昌武（キリロム工科大学）、高橋孝治（立教大学）

趣旨：少なからぬ先行研究が示すとおり、長らく高等教育システムの中心をなす欧米の大学に対し、アジアの大学は周縁に位置付けられてきた。しかし、昨今は世界大学ランキングにおける躍進に象徴されるように、アジア新興国からも研究大学としてプレゼンスを発揮している大学が出現している。しかし、企画者らはアジア新興国の研究大学における教育・研究経験等を踏まえた研究を通じ、アジア新興国と欧米の研究大学を同一の基準—例えば世界大学ランキング—で評価することに対して違和感を抱くようになった。本ラウンドテーブルでは、アジア新興国と欧米の研究大学の差異を明らかにした上で、アジア新興国における研究大学像を模索することとしたい。

#### テーブル10 一般教育の知的遺産を活かす〔その14〕：共同体としての大学

会場：C1棟 C1-311 教室

企画者：深野政之（大阪公立大学）、亀倉正彦（名古屋商科大学）、小山悦司（倉敷芸術科学大学）、塩沢一平（二松学舎大学）、井上美香子（福岡女学院大学）、橋爪孝夫（山形大学）

趣旨：本学会在り方検討委員会（1996年）では、一般教育学会からの学会名変更にあたって、本学会に「戦後の一般教育課程の功罪や理念を再確認する歴史的責任」があるという認識が示された。これを受け本ラウンドテーブルでは2007年より15回にわたって教養教育〔語学、体育、正課外教育を含む〕の課題について教育実践報告を通して検証してきた。今回は「共同体としての大学」と題し、井上美香子会員（福岡女学院大学）と橋爪孝夫会員（山形大学）より、自身の研究と教育実践について話題提供いただき、現在の教育改革との関連から議論していきたい。

#### テーブル11 教養教育の本流4

会場：C1棟 C1-312 教室

企画者：児玉英明（名古屋大学）、阿部勘一（成城大学）、居神浩（神戸国際大学）

趣旨：本ラウンドテーブルの問題意識は、近年の教養教育をめぐる議論がジェネリックスキルの養成という側面を過度に重視し、それを測定しようとするがあまり、戦後間もなくのころ議論された教養教育の本流にあたる諸研究の蓄積が抜け落ちているのではないかというものである。日本学術会議『21世紀の教養と教養教育』によれば、教養教育の究極の目標は民主的社会とその豊かな展開を担う民主的市民の形成であった。しかし、いつの間にかその目標は後景に退き、より実用的な観点が重視されるという様相を示している。本ラウンドテーブルでは教養教育の原理像と思想性を踏まえながら、様々な専門性を持った研究者が、同時代論としての教養教育を提示する。

## テーブル12 プレFD再検証－研究大学の教育系センターにおける運営上の課題と試行錯誤

会場：R1棟 R1-211教室

企画者：近田政博（神戸大学）、加藤真紀（名古屋大学）、栗田佳代子（東京大学）、佐藤浩章（大阪大学）、根岸千悠（京都外国語大学）

趣旨：日本の主要研究大学では、大学教員を志望する大学院生を対象にプレFDプログラムを実施している。2019年の大学院設置基準改正では、すべての大学院においてプレFDの実施または情報提供が努力義務化された。大学院生が大学教授法や授業設計の基本を学び、模擬授業等を体験する機会はある程度普及しつつある。他方、各研究大学の教育系センターでは、改組、担当者の交代、学内外の状況変化、長年の継続によるマンネリ化など、さまざまな現実課題に直面し、必ずしもプレFDを順調に運営しているわけではない。本ラウンドテーブルでは各大学がどのような試行錯誤を重ねているかを報告し、日本の文脈に合った持続可能な発展に向けての示唆を共有したい。

## テーブル13 教養教育の目的・内容に関する国際比較

会場：R1棟 R1-212教室

企画者：白川優治（千葉大学）、杉本和弘（東北大学）、夏目達也（桜美林大学）、深堀聰子（九州大学）、森利枝（大学改革支援・学位授与機構）

趣旨：本ラウンドテーブルでは、昨年度の成果をふまえつつ、大学における教養教育のあり方について考える。今回は、アメリカ、韓国、日本の主要大学において、カリキュラム上の教養教育の位置づけ、とくに教養教育の目的や内容がいかに設定されているか、教養教育をめぐるいかなる議論が展開されているか等を整理する。そのうえで、アメリカや韓国と比較して、日本の教養教育の目的や内容の特徴、今後の課題がいかなるものであるかについて検討する。主な論点として、以下を予定している。・教養教育の目的をめぐる各国の議論の状況はいかなるものか。・各国の主要大学で教養教育の目的やカリキュラム構成はいかに設定されているか。

## テーブル14 学科名に基づくカリキュラムの類推可能性に関する予備的考察

会場：R1棟 R1-213教室

企画者：串本剛（東北大学）、杉谷祐美子（青山学院大学）、葛城浩一（神戸大学）、原田健太郎（島根大学）、栗原郁太（東京大学大学院）、金谷康平（信州大学医学部）

趣旨：本研究の目的は、学科名とカリキュラムの関係を分析することで、学士課程教育の質保証を論じるための基本的な観点を改めて提起することである。日本では1990年代以降、学科名の多様化や学位の国際的通用性が問題視されているものの、それらが実際のカリキュラムとどのような関係にあるのかを確かめようとする試みは乏しい。そこで本ラウンドテーブルでは、学科名に基づくカリキュラムの類推可能性に関する予備的考察として、学生募集や定員管理の基本単位である「学科名」、学位に付記する専攻分野の名称に相当する「学位名」、並びに学科系統分類表の「中分類」の対応関係を、4年制学士課程に係る網羅的なデータセットに依拠しながら報告する。

## テーブル15 組織を超えた学びがもたらす可能性（学部間連携、大学間連携）

会場：R1棟 R1-214教室

企画者：河本達毅（桐蔭横浜大学）、橋本健夫（西九州大学）、吉村充功（日本文理大学）、成田秀夫（山梨学院大学）、溝口侑（桐蔭横浜大学）

趣旨：垂直統合型からオープンイノベーションへ。政策は「学修者本位の大学教育」を掲げ、一の大学、一の学科等における資源のみでの教育に限界を認め、相次ぐ法令の改正により、学生本位の学びのための組織間連携を求めている。学部等関係課程や基幹教員、教育課程等に係る特例制度がそれである。これらは、資源の共有化による新たな教育の可能性を示すものの、資源の共有は専門教育の横断・融合の文脈であり、このVUCA時代に期待される能力も含めた総体的な学生の学びについては検討されていない。本ラウンドテーブルでは、学部間連携、大学間連携の計画や実績等について、総体的な学生の学びの視点から報告・検討を行うものである。

## テーブル16 質的研究法は大学教育研究の中でどのように見いだされ活用されてきたのか —大学教育を対象とした質的研究法の事例集作成を目指して

会場：R1棟 R1-311 教室

企画者：谷美奈（帝塚山大学）、西野毅朗（京都橘大学）、山咲博昭（広島市立大学）、山路茜（岩手大学）、山田嘉徳（関西大学）

趣旨：私達は大学教育学会課題研究「大学教育における質的研究の可能性（2020-2022）」で、大学教育研究における質的研究の普及について検討し、質的研究事例集作成の提案を行ってきた。質的研究法の専門書は多く出版されているが、大学教育に限定したテキストは管見の限り皆無である。とりわけ質的研究のあり方は多様なため、一般論としての質的研究法だけでは大学教育研究にどのように活用していけばよいのかイメージがつきにくい。本RTでは「質的研究法は大学教育研究の中でどのように見いだされ活用されてきたのか」をテーマに事例集の構想と草案を報告し、それをもとに、会場の参加者とワークショップを行い、より良い事例集のあり方を創造する。

## テーブル17 大学生のための学習支援に関する機能・担い手・方法に関する総合的研究 ～学習支援に関する全国調査を踏まえて～

会場：R1棟 R1-312 教室

企画者：林透（金沢大学）、長澤多代（三重大学）、宝来華代子（崇城大学）、大関智史（旭川医科大学）、我妻鉄也（千葉大学）、浜島幸司（函館大谷短期大学）

趣旨：近年、大学生のための学習支援の重要性が増すとともに、研究対象としても大事なテーマになりつつある。一方において、学習支援の多様性の中で、その全体像を把握する情報が十分に蓄積されているとは言えない、特に、学習者の自律性を育む方法論を含めた分野横断型の調査研究が必要である。このような問題意識から、2019年度に学習支援を総合的に調査する研究チームを編成し、2021年度の全国調査実施を皮切りに、国内外の訪問調査等を進めてきた。本ラウンドテーブルでは、各調査結果に基づき、大学生のための学習支援に関する機能・担い手・方法の観点から話題提供を行い、フロアとの意見交換を通して、学習支援の体系化に繋げることを目指す。

## テーブル18 【課題研究】SDGsの観点から考える男女共同参画・教職協働・働き方改革

会場：U2棟 U2-211 教室

企画者：吉永契一郎（金沢大学）、奈良雅之（目白大学）、福島真司（大正大学）、清水栄子（追手門学院大学）、ダガンさかの（金沢大学）、前田ひとみ（目白大学）、上田忠憲（大正大学）

趣旨：昨年度、課題研究に採択された本研究は、大学における男女共同参画、教職協働、働き方改革をテーマとしている。各テーマについては、昨年度のシンポジウムにおいて、その趣旨を説明したが、時間の制約から、参加者の意見を取り上げるには至らなかった。そこで、本企画では、これらのテーマについて、すでに実施したアンケート調査の結果とともに、会員からの意見を聴取することを目的とする。3つのテーマは、いずれも、大学関係者が当事者として、直面すべき課題であり、大学間、職種間、構成員間の違いを理解するためにも、積極的な参加をお願いしたい。

## テーブル19 【課題研究】大学教育・経営人材と育成プログラム

会場：U2棟 U2-212 教室

企画者：福留東土（東京大学）、中世古貴彦（九州産業大学）、水野貴子（東京大学）、木村弘志（一橋大学）、松村彩子（名古屋大学）

趣旨：学会課題研究「大学教育・経営人材の育成とプログラム開発に関する研究」は2023年度が最終年度となる。プロジェクトではこれまでの2年間で、主に以下の5つの観点からプロジェクトテーマを巡る議論を行ってきた。①大学院プログラム学習者の視点 ②大学院プログラム教育者の視点 ③大学職員研究の視点 ④大学経営研究の視点 ⑤国際比較の視点 本ラウンドテーブルでは2年間の活動を通して得られた知見を課題研究メンバーが提示する。その上で実務者・研究者の立場からコメントを行い、参加者との議論を行う。初めて参加する人が理解しやすいよう、知見のエッセンスを集約して提示する。本テーマに関心のある多くの会員の参加を歓迎する。

## テーブル 20 【課題研究】コロナ禍がもたらした大学教育の可能性

会場：U2 棟 U2-213 教室

企画者：塚原修一（関西国際大学）、濱名篤（関西国際大学）、山田礼子（同志社大学）、深澤晶久（実践女子大学）、川嶋太津夫（大阪大学）

趣旨：課題研究「コロナ禍がもたらす大学教育の可能性～対象・方法・内容～」のサブテーマ「非対面大学教育における学修成果の評価」によるラウンドテーブルである。コロナ禍により、オンライン教育が日本の大学において実施可能なことが示された。そのことが、コロナ後の大学教育に及ぼした影響を整理して課題研究のまとめとする。あり得る選択肢のひとつは、オンライン授業の定着と、さらに非対面による国際交流や大学のデジタルトランスフォーメーションである。もうひとつは、コロナ前の対面教育への回帰と、さらに討論型など対面による高度な授業があろう。特徴ある事例として芝浦工業大学と関西大学を紹介する。

## テーブル 21 【課題研究】ニューノーマル時代の学習環境をデザインするには —学習環境ハンドブックの開発と拡張版 LSRS の試行報告—

会場：U2 棟 U2-214 教室

企画者：千葉美保子（甲南大学）、村上正行（大阪大学）、岩崎千晶（関西大学）、川面きよ（成城大学）、浦田悠（大阪大学）、遠海友紀（東北学院大学）、多田泰紘（京都橘大学）、嶋田みのり（東北学院大学）、石井和也（宇都宮大学）

趣旨：課題研究「コロナ禍がもたらす大学教育の可能性～対象・方法・内容～」のサブグループ「ニューノーマル時代における学習環境デザインモデルの構築」では、ニューノーマル時代のラーニングコモンズをはじめとした学習スペースの設置、運営、改善に携わる教職員や学生スタッフが、その方針を確認、評価、修正するとき有用なハンドブックの開発を進めている。本ラウンドテーブルでは、ハンドブックの開発経過報告と、そのハンドブックの構成要素の一つである、学習スペースの評価システム（LSRS）を基とした拡張版 LSRS の事例報告を行い、参加者の皆様とともに、よりよいハンドブックの開発に向けた全体議論を行いたい。

12:00～13:15 昼食

13:15～13:45 事業報告会 会場：U3 棟 U3-211 教室

13:45～14:00 開会行事 会場：U3 棟 U3-211 教室

14:10～15:00 基調講演「新学習指導要領と高大接続」

会場：U3 棟 U3-211 教室

講師：合田 哲雄 氏（文化庁次長）

司会：佐藤 浩章 氏（大阪大学）

15:10～17:30 シンポジウム

「ポストコロナ時代の高大接続のあり方を問う」

会場：U3 棟 U3-211 教室

シンポジスト：

研究者から見る高大接続 : 清水 一彦 氏（山梨大学）

教育 YouTuber から見る高大接続 : 葉一 氏（教育 YouTuber）

実践者から見る高大接続 : 阪口 篤志 氏（大阪大学）

コメンテーター : 山本 啓一 氏（北陸大学）

司会進行 : 佐藤 浩章 氏（大阪大学）

6月4日（日）

9:30～ 受付（吹田DonDon（生協））

10:00～12:00 自由研究発表 I （○は登壇者）

#### 部会 1 学生支援

会 場：R1 棟 R1-211 教室

司 会：筒井洋一（大谷大学）、清水栄子（追手門学院大学）

10:00～10:20 障害者差別解消法の改正に伴う私立大学、企業等の民間事業者に与える影響に関する研究

○小川勤（静岡福祉大学）

10:20～10:40 インフォーマルな学習スペースにおける Learning Space Rating System と利用学生の  
実態調査に基づくレイアウト変更の事例的検討

○真名瀬陽平（流通経済大学）、岸裕美（流通経済大学、非会員）

10:40～11:00 コロナ禍における大学生の学習と生活に関する研究—日中比較の観点から

○王帥（東京大学）

11:00～11:20 イギリスの大学における学生の苦情申し立て： COVID-19 下での独立裁定局(OIA)の  
役割

○沖清豪（早稲田大学）

11:20～11:40 発達障害のある学生の就労支援Ⅲ

○田実潔（北星学園大学）

11:40～12:00 総合討論

#### 部会 2 キャリア教育（1）

会 場：R1 棟 R1-212 教室

司 会：飯吉弘子（大阪公立大学）、山本啓一（北陸大学）

10:00～10:20 キャリア教育における振り返りの分析

○石田雪也（千歳科学技術大学）

10:20～10:40 大学時代のコミュニケーションへの取り組み姿勢が 初期キャリアのリーダーシップ自  
己効力感に与える影響 -職場のリモート環境による多母集団同時分析の検討-

○武田佳子（桐蔭横浜大学）、溝口侑（桐蔭横浜大学）、溝上慎一（桐蔭横浜大  
学）

10:40～11:00 大学における性教育の意義 - 20 代の性と労働に対する調査と男女大学生を対象とした  
ワークショップの調査報告 -

○本庄加代子（東洋学園大学）

~~11:00～11:20 大学のキャリア教育で扱う内容についての整理—学生向けキャリア教育テキストブッ  
クの分析から—~~

~~○中西勝彦（京都文教大学）~~

~~11:00～11:20 総合討論~~

#### 部会 3 高大連携・高大接続（1）

会 場：R1 棟 R1-213 教室

司 会：夏目達也（名古屋大学）、田川千尋（大阪大学）

10:00～10:20 高大接続のための足場理論に基づくリサーチクエスション形成支援モデル

○池田文人（北海道大学）、山下尚子（北海道大学、非会員）、邱麗（北海道大  
学、非会員）

- 10:20～10:40 マス型高大接続における学生の移行の様相—高校で探究学習を経験した大学生の語り  
に焦点をあわせて—  
○田中孝平（京都大学大学院）
- 10:40～11:00 準正課での高大連携プログラムの実施と学生の成長—桐蔭横浜大学の事例の検討—  
○前川悠（桐蔭横浜大学）、溝口侑（桐蔭横浜大学）、松井浩気（岸根高等学校、  
非会員）、木本早彩（岸根高等学校、非会員）
- 11:00～11:20 高校生が抱く大学・大学生へのイメージに関する一考察—大学合格から大学入学までの  
期間における高校生の語りを通して—  
○岡田航平（京都大学大学院）
- 11:20～11:40 総合討論

#### 部会4 教職員の能力開発

会場：R1棟 R1-214教室

司会：出光直樹（横浜市立大学）、山咲博昭（広島市立大学）

- 10:00～10:20 大学職員の望ましい業務行動—学生対応業務のケースを題材として—  
○木村弘志（東京大学）
- 10:20～10:40 大学職員のビッグ・ファイブ・パーソナリティ特性に関する基礎的研究  
○岡田聡志（千葉大学）、我妻鉄也（千葉大学）、松本暢平（千葉大学、非会員）、  
竹内比呂也（千葉大学）
- 10:40～11:00 高校教員が抱く授業観・教育観の探索的検討—授業改善への示唆に向けて—  
○山田嘉徳（関西大学）、関田一彦（創価大学）
- 11:00～11:20 ボーダーフリー大学で求められる教員とは—公募情報からみる教育能力と研究能力—  
○葛城浩一（神戸大学）
- 11:20～11:40 キャリアセンターと教職員との連携・協働を促進・阻害する要因—キャリアコンサルタ  
ントの視点から—  
○伊藤華余子（名古屋大学大学院）
- 11:40～12:00 総合討論

#### 部会5 学士課程教育（1）

会場：R1棟 R1-311教室

司会：藤木清（関西国際大学）、林透（金沢大学）

- 10:00～10:20 直接評価による教育の質保証—山形大学における基盤力テストの分析と活用—  
○安田淳一郎（山形大学）、浅野茂（山形大学、非会員）、飯島隆広（山形大学、  
非会員）、千代勝実（山形大学、非会員）、渡辺絵理子（山形大学、非会員）
- 10:20～10:40 授業目標の達成状況測定の必要性  
○安岡高志（帝京大学）、井上史子（早稲田大学）
- 10:40～11:00 理系学部における社会連携教育プログラムの実践  
○京都産業大学教育支援研究開発センター（○西田貴明）
- 11:00～11:20 オンライン授業による大学間連携の可能性—九州地区国立大学間連携事業「九州学」を  
例に—  
○川越明日香（熊本大学）
- 11:20～11:40 マイナープログラム履修の有無が学生の学習成果・学習プロセスに与える効果の検討  
○斎藤有吾（新潟大学）、長創一朗（新潟大学）、神田麻衣子（新潟大学、非会  
員）
- 11:40～12:00 総合討論

## 部会6 学士課程教育（2）

会場：R1棟 R1-312教室

司会：福留東土（東京大学）、橋本智也（大阪公立大学）

### 10:00～10:20 学生の特徴と教養教育・専門教育における学びの関連

○岡田有司（東京都立大学）、山田剛史（関西大学）、半澤礼之（北海道教育大学釧路校）、家島明彦（大阪大学）

### 10:20～10:40 心理的安全性と教養教育・専門教育における学びの関連

○山田剛史（関西大学）、半澤礼之（北海道教育大学）、家島明彦（大阪大学）、岡田有司（東京都立大学）

### 10:40～11:00 大学3年生の学習成果（学業成績・汎用的技能）に関連する入学時の要因の検討

○澤田忠幸（石川県立大学）、垣花渉（石川県立看護大学）

### 11:00～11:20 大学入学時のセルフマネジメントの行動意図による学業成果の予測

○西口利文（大阪産業大学）

### 11:20～11:40 社会科学系学部に所属する学生の学習意識・行動—ボーダーフリー大学生に着目して—

○宇田響（くらしき作陽大学）

### 11:40～12:00 総合討論

## 部会7 教育方法・教育改善（1）

会場：U2棟 U2-211教室

司会：中島英博（立命館大学）、吉田香奈（広島大学）

### 10:00～10:20 論文作成ワークシートの開発—社会人大学院入学希望者に対する入学前の学修支援のあり方—

○吉田香桜里（星槎大学）、古塚典洋（星槎大学）

### 10:20～10:40 レポート観の多様性の要因分析

○成瀬尚志（大阪成蹊大学）、片山悠樹（愛知教育大学、非会員）、笠木雅史（広島大学、非会員）、崎山直樹（千葉大学）

### 10:40～11:00 「問い」を立てる能力をいかにして洗練するか

○須長一幸（福岡大学）

### 11:00～11:20 大学院生のアカデミック・ライティングの実態—文章作成におけるプロセスと留意点—

○後藤大輔（早稲田大学）、○平松友紀（早稲田大学）、千仙永（東京大学）、坂本麻裕子（早稲田大学）、佐渡島紗織（早稲田大学）

### 11:20～11:40 総合討論

## 部会8 教育方法・教育改善（2）

会場：U2棟 U2-212教室

司会：二宮祐（群馬大学）、河井亨（立命館大学）

### 10:00～10:20 PBL教育の最前線—ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンの事例から

○吉永契一郎（金沢大学）、鈴木久男（北海道大学）、斉藤準（帯広畜産大学）

### 10:20～10:40 PBL教育の最前線—シンガポール・デザイン・工科大学

○鈴木久男（北海道大学）、吉永契一郎（金沢大学）、斉藤準（帯広畜産大学）

### 10:40～11:00 PBL教育の最前線—オールボー大学の組織的取り組み

○斉藤準（帯広畜産大学）、鈴木久男（北海道大学）、吉永契一郎（金沢大学）

### 11:00～11:20 「プロジェクト型探究（PBL型探究）」を実現するデザイン要件の検討

○広石英記（東京電機大学）

### 11:20～11:40 プロジェクト学習におけるオンライン学習の形式が学習成果に及ぼす影響

○上田勇仁（職業能力開発総合大学校）

### 11:40～12:00 総合討論

部会 9 教育方法・教育改善（3）

会 場：U2 棟 U2-213 教室

司 会：高橋哲也（大阪公立大学）、江本理恵（北海道大学）

10:00～10:20 教養科目としてのサービス・ラーニングにおける統合的思考の分析

○杉原真晃（聖心女子大学）

10:20～10:40 課外活動を通じた学生の成長感に関する探索的研究

○立命館大学学生部（山野洋一、深谷麻未、茅根未央、渡邊あい子、石田明菜、細川千絵、松浦祐子、西田祐太郎）、木原宏子（立命館大学）、松本清（東京工業大学）、岸岡奈津子（立命館大学）

10:40～11:00 学生主体の地域連携活動と社会的スキルの考察

○櫻井典子（新潟大学）、大橋慎太郎（新潟大学、非会員）、樋口健（新潟大学）

11:00～11:20 大学生の深い学びの評価へのメタ認知尺度（MAI）の活用について

○金西計英（徳島大学）

11:20～11:40 超短期留学に関する教育効果の測定：BEVI を用いたハワイ大学研修の実践事例

○大西好宣（千葉大学）、中村絵里（千葉大学、非会員）

11:40～12:00 総合討論

部会 10 教育方法・教育改善（4）

会 場：U2 棟 U2-214 教室

司 会：塚原修一（関西国際大学）、岩崎千晶（関西大学）

10:00～10:20 チュータリングにおけるフィードバック研修の有用性を検討する

○石毛弓（大手前大学）、合田美子（熊本大学、非会員）、山本佐江（帝京平成大学、非会員）

10:20～10:40 成長に繋げるための効果的な振り返り：学生ピア・サポーターを事例として

○木原宏子（立命館大学）、深谷麻未（立命館大学、非会員）、岸岡奈津子（立命館大学）、石田明菜（立命館大学、非会員）、渡邊あい子（立命館大学、非会員）、茅根未央（立命館大学、非会員）、山野洋一（立命館大学）

10:40～11:00 教育に関わるアクターとしての学生と教員：シラバス改善ワークショップの分析

○勝野喜以子（成蹊大学）、○佐藤万知（京都大学）

11:00～11:20 リーダーシップ教育授業を活用した SA トレーニングの可能性について

○橋爪孝夫（山形大学）

11:20～11:40 大学での野外スポーツ実習の教育効果—スキーおよびスノーボード実習に着目して—

○松尾美香（岡山理科大学）、○望月雅光（創価大学）

11:40～12:00 総合討論

12:00～13:00 昼食

13:00～15:00 自由研究発表Ⅱ （○は登壇者）

部会 11 入学前教育

会 場：R1 棟 R1-211 教室

司 会：沖裕貴（立命館大学）、杉谷祐美子（青山学院大学）

13:00～13:20 入学前教育 「大学生になるための『ここ読んで！』読書」の成果と課題

○梅村修（追手門学院大学）、○田上正範（追手門学院大学）

13:20～13:40 一般入試比率からみた入学前教育

○田上正範（追手門学院大学）

- 13:40～14:00 入学前教育における教育プログラムの実態調査による考察  
 ○林寛子（山口大学）、當山明華（長崎大学、非会員）、陣内未来（九州大学、非会員）、山本以和子（京都工芸繊維大学）、花堂奈緒子（九州工業大学、非会員）
- 14:00～14:20 入学前教育への参加動機による講座への取組み態度の変化についての検討  
 ○溝口侑（桐蔭横浜大学）、○松井晋作（桐蔭横浜大学）
- 14:20～14:40 総合討論

### 部会 1 2 キャリア教育（2）

会場：R1 棟 R1-212 教室

司会：中井俊樹（愛媛大学）、岡田有司（東京都立大学）

- 13:00～13:20 ソーシャルワークにおける批判的思考：新任専門職の職務遂行過程から見た大学教育の学修成果  
 ○久保田祐歌（関西福祉科学大学）、中井俊樹（愛媛大学）、池田史子（山口県立大学国際文化学部）、新原将義（帝京大学、非会員）、寶田玲子（関西福祉科学大学、非会員）
- 13:20～13:40 主体的に学び続ける社会人の学生時代 -10 年間の質的縦断調査からの仮説探索-  
 ○稲垣太一（学校法人金城学院）
- 13:40～14:00 卒業生の現在の職業的満足に関する分析 -小樽商科大学の卒業生調査データから-  
 ○西出崇（小樽商科大学）
- 14:00～14:20 経営系専門職大学院のディプロマポリシーに見る高度専門職業人像—高度専門職教育への試論  
 ○川山竜二（社会構想大学院大学）
- 14:20～14:40 短期大学への評価は卒業後の経験でどのように変化するのか -2020 年卒業生調査と 2022 年卒業生調査を比較して-  
 ○宮里翔大（桜美林大学）、○堺完（大分大学）、山崎慎一（桜美林大学）、黄海玉（一般財団法人短期大学基準協会）
- 14:40～15:00 総合討論

### 部会 1 3 高大連携・高大接続（2）

会場：R1 棟 R1-213 教室

司会：沖清豪（早稲田大学）、榊原暢久（芝浦工業大学）

- 13:00～13:20 金沢大学における「育成型」の高大接続入試の評価 -「KUGS 特別入試」合格者へのアンケート結果から-  
 ○田中千晶（金沢大学）、荻谷千尋（金沢大学、非会員）
- 13:20～13:40 大学入学者選抜における多面的・総合的評価の分類—螢雪時代掲載データに基づく実態把握の試み—  
 ○大野真理子（京都大学大学院）
- 13:40～14:00 日本における高等教育の大衆化と「大学ガイド」の役割  
 ○宇田川拓雄（嘉悦大学）、松本美奈（上智大学、非会員）、白鳥成彦（嘉悦大学、非会員）
- 14:00～14:20 大学進学時の文理選択が大学での学びの選択に与える影響  
 ○尾澤重知（早稲田大学）、正司豪（早稲田大学、非会員）、高見佳代（早稲田大学、非会員）
- 14:20～14:40 高校の学びに何が重要だと考えられているのか -汎用的能力の育成講座の検討から-  
 ○田川千尋（大阪大学）
- 14:40～15:00 総合討論

#### 部会 14 ライティング

会場：R1 棟 R1-214 教室

司会：井下千以子（桜美林大学）、成瀬尚志（大阪成蹊大学）

13:00～13:20 初年次学生が有する論証の型に関する試行調査

○杉山芳生（藍野大学）

13:20～13:40 協働ライティングによるレポート作成プロセスの定量化とその分析

○仙石昌也（愛知医科大学）、宮本淳（愛知医科大学）、橋本貴宏（愛知医科大学）、久留友紀子（愛知医科大学）、山森孝彦（愛知医科大学）、山下敏史（愛知医科大学、非会員）

13:40～14:00 文章作成スキル向上を目指す授業のマルチモーダル化が示す学習ポイントの多様性

○安村友紀（東京農工大学）

~~14:00～14:20 日本語教員と工学系教員との協働による技術文書の書きにつながる授業デザイン~~

~~○中川祐香（大阪産業大学）、水谷夏樹（大阪産業大学、非会員）~~

14:00～14:20 総合討論

#### 部会 15 学士課程教育（3）

会場：R1 棟 R1-311 教室

司会：橋爪孝夫（山形大学）、川越明日香（熊本大学）

13:00～13:20 大学における一般教育・教養教育の理念等整理の試みー「IDEー現代の高等教育」の内容分析を通してー

○上畠洋佑（新潟大学）

13:20～13:40 AAC&U の LEAP イニシアチブにおける Capstone Experience と Undergraduate Research の目的と方法ー日本の卒業研究との比較の観点からの考察ー

○中島夏子（東北工業大学）

13:40～14:00 日本の大学における Tinto による学業継続モデルの適用可能性に関する検討

○小湊卓夫（九州大学）、田中秀典（宮崎大学、非会員）、藤原宏司（山形大学、非会員）

14:00～14:20 包摂性と社会的公正を目指す学士課程教育ーカリフォルニア大学バークレー校のアメリカ文化プログラムー

○福留東土（東京大学）

14:20～14:40 総合討論

#### 部会 16 大学運営

会場：R1 棟 R1-312 教室

司会：山田剛史（関西大学）、堀井祐介（金沢大学）

13:00～13:20 オーストラリア国立大学における多様性、公正、包摂の組織的推進に関する研究

○鳥居朋子（立命館大学）

13:20～13:40 教学マネジメントのためのデータ活用に関する基礎的考察 ～アセスメントプラン等に関する全国調査分析を通して～

○藤木清（関西国際大学）、○林透（金沢大学）、大関智史（旭川医科大学）、望月雅光（創価大学）、ShorbPatrick（関西国際大学、非会員）

13:40～14:00 教学マネジメントの理解浸透に係る施策に関する一考察

○山咲博昭（広島市立大学）、○荒木俊博（淑徳大学）、○岩野摩耶（山口大学）、○堀佑二（獨協大学）、白藤康成（京都産業大学、非会員）

14:00～14:20 地方私立大学の学部等連携課程への挑戦

橋本健夫（西九州大学）、○福元健志（西九州大学短期大学部）、橋本優花里（長崎県立大学）

- 14:20～14:40 IR 組織・担当者の能力と大学執行部の期待の関係  
○橋本智也（大阪公立大学）、白石哲也（山形大学）、
- 14:40～15:00 総合討論

部会 17 教育方法・教育改善（5）

会場：U2 棟 U2-211 教室

司会：杉本和弘（東北大学）、山田嘉徳（関西大学）

- 13:00～13:20 探究学習が看護学生の自己効力感に及ぼす影響—双方向型の授業実践の観点から—  
○垣花渉（石川県立看護大学）、澤田忠幸（石川県立大学）
- 13:20～13:40 高等教育におけるプログラミング教育の意義：論理的思考への条件分岐  
○佐藤尊範（東海学院大学）
- 13:40～14:00 読解ストラテジーの獲得支援—日本人学生と留学生を対象として—  
○三宅若菜（東京経済大学）
- 14:00～14:20 コロナ禍以後の学びの場の再検討 —教室を前提とした学びから、対面とオンラインのベストミックスを探る—  
○筒井洋一（大谷大学）
- 14:20～14:40 コロナ禍後の対面授業に求められるもの —プレアクティブラーニングにおけるクラスメイトの役割—  
○間中和歌江（武蔵野大学）
- 14:40～15:00 総合討論

部会 18 教育方法・教育改善（6）

会場：U2 棟 U2-212 教室

司会：吉永契一郎（金沢大学）、佐藤万知（京都大学）

- 13:00～13:20 総合大学での宇宙の基礎に関する反転授業で用いたデジタル Diamond Mandala Matrix への記述に対するテキスト分析結果に見られた学びについて  
○青木成一郎（京都情報大学院大学）、小林信三（京都情報大学院大学、非会員）、小林祐也（京都情報大学院大学）、岡本敏雄（京都情報大学院大学、非会員）、土持法一（京都情報大学院大学）
- 13:20～13:40 知識伝達を目的とする講義におけるグループワークの効果  
○庄司善彦（兵庫県立大学）
- 13:40～14:00 反転授業における学生による概念の一般化に関する研究 —デジタル Diamond Mandala Matrix (dDMM) を活用して—  
○小林祐也（京都情報大学院大学）、小林信三（京都情報大学院大学）、青木成一郎（京都情報大学院大学）、土持法一（京都情報大学院大学）
- 14:00～14:20 私たちは本をどのように探したり選んだりしているか —テクノロジー (AI) の活用による学習者に最適化した文献探索システムの構築に向けたニーズの分析 (質問紙調査) —  
○野末俊比古（青山学院大学）、鈴木祐介（富士通 Japan 株式会社、非会員）、越前谷直之（富士通株式会社、非会員）、竹内祐喜（富士通 Japan 株式会社、非会員）
- ~~14:20～14:40 大学での学修における e ポートフォリオの活用実態と導入意義に関する考察  
○伏本田稚子（東京都立大学）、近藤伸彦（東京都立大学）、横田佳之（東京都立大学、非会員）~~
- 14:20～14:40 総合討論

部会 19 教育方法・教育改善（7）

会場：U2 棟 U2-213 教室

司会：杉原真晃（聖心女子大学）、西野毅朗（京都橘大学）

13:00～13:20 学生に「大学」を教える：授業実践報告

○深野政之（大阪公立大学）

13:20～13:40 教養教育における全学必修初年次教育科目の改革と評価－広島大学を事例として－

○吉田香奈（広島大学）、○林光緒（広島大学）

13:40～14:00 社会人基礎力育成のためのクリティカルコミュニケーションとサーバントリーダーシップのススメ

○三浦真琴（関西大学）

14:00～14:20 初年次における学外学習の効果

○隅田姿（広島修道大学）、佐渡紀子（広島修道大学、非会員）、竹井光子（広島修道大学、非会員）、矢田部順二（広島修道大学）

14:20～14:40 フォーマル学習とノンフォーマル学修を連携させる意義～環境配慮型活動の「学びのスパイラル」がコンピテンシー向上を促す可能性

○布柴達男（国際基督教大学）、藤沼良典（国際基督教大学）

14:40～15:00 総合討論

部会 20 プレFD

会場：U2 棟 U2-214 教室

司会：栗田佳代子（東京大学）、田口真奈（京都大学）

13:00～13:20 日本における TA 研修・大学教員準備プログラムの現状と課題

○李麗花（九州大学）

13:20～13:40 大学院生を対象とした教授能力開発に関するアンケート調査

○根岸千悠（京都外国語大学）、岡田有司（東京都立大学）、渡邊文枝（早稲田大学）、金賢眞（大阪大学、非会員）、村上正行（大阪大学）

13:40～14:00 プレFDにおける模擬授業の効果的なデザインに関する検討－ADDIEモデルに基づく整理－

○瀬崎颯斗（東京大学）、栗田佳代子（東京大学）、蜂須賀知理（東京大学、非会員）、割澤伸一（東京大学、非会員）

14:00～14:20 修了後のフォローアップ調査に基づいたプレFDプログラムの効果と特徴

○栗田佳代子（東京大学）、朴源花（東京大学、非会員）、芳賀瑛（東京大学、非会員）、瀬崎颯斗（東京大学）、徐雨珊（東京大学、非会員）、雷嫣然（東京大学、非会員）、鍋田修身（東京大学、非会員）

14:20～14:40 総合討論

### 3. 参加申込みについて

本大会は正会員および学生会員のみ、事前申し込みができます。4月7日(金)から、学会ウェブサイト内の会員ページから参加登録を行うことが可能です。5月12日(金)までが早期価格となり、オンライン決済(クレジットカード)または口座振込による参加費の支払いが可能です。

5月13日(土)以降は、オンライン決済(クレジットカード)のみで、会員・非会員の申込を受け付けます。

事前申込(早期価格)期間: 2023年4月7日(金)~5月12日(金)(オンライン決済または口座振込)  
一般申込(一般価格)期間: 2023年5月13日(土)~(オンライン決済のみ)

#### 【参加費用一覧】

費用項目			申込日	
			早期価格 4月7日~5月12日	一般価格 5月13日~
参加費	一般	会員	5,000円	6,000円
		非会員		6,000円
	学生	会員	2,000円	3,000円
		非会員		3,000円
6月3日お弁当代			1,000円(税込)	
6月4日お弁当代			1,000円(税込)	

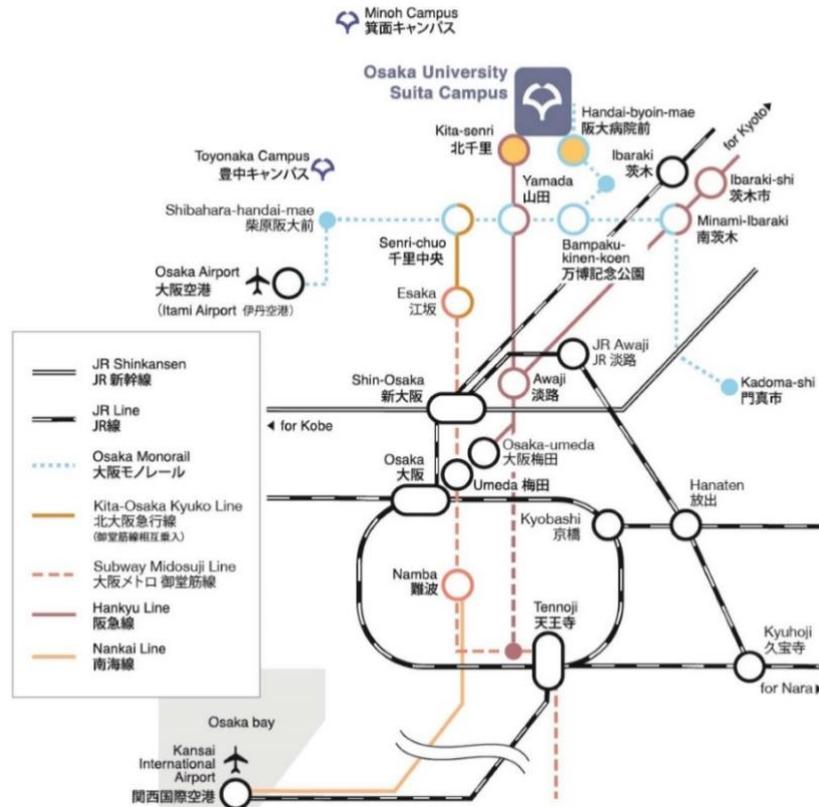
- <団体会員について> 団体会員は事前申込については3名までとさせていただきます。団体会員の場合、1アカウントしかいないため、1名しか申し込むことができません。残り2名分の参加者については、5/26(金)までに学会業務取扱センター(g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp)までご連絡ください。追加でアカウントを発行しますので、そちらで参加事前申込をしていただくことになります。(3名を超える参加者分は、非会員として参加申込をお願いいたします。)
- 早期価格の参加にかかる合計金額(お弁当申込の場合は、お弁当代を含む)は5月12日(金)までにオンライン決済または下記口座へお振り込み下さい(振込手数料はご負担下さい)。**【締切期間厳守】**

大会参加費振替口座 「00200-1-103725」 一般社団法人大学教育学会  
 他行等からの振り込みの際、ゆうちょ銀行 ○二九店(029) 当座 0103725

- ご登録名義以外でのお振込(公費払い含む)の場合、別途学会業務取扱センター(g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp)まで、送金日・入金額・振込名義・明細等を必ずご連絡下さい。

#### 4. 大会会場へのアクセス

##### 【大阪大学吹田キャンパスへのアクセス】



大阪大学工学研究科 アクセスマップ (<https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/access/>)

##### 【新大阪駅から】(約45分)

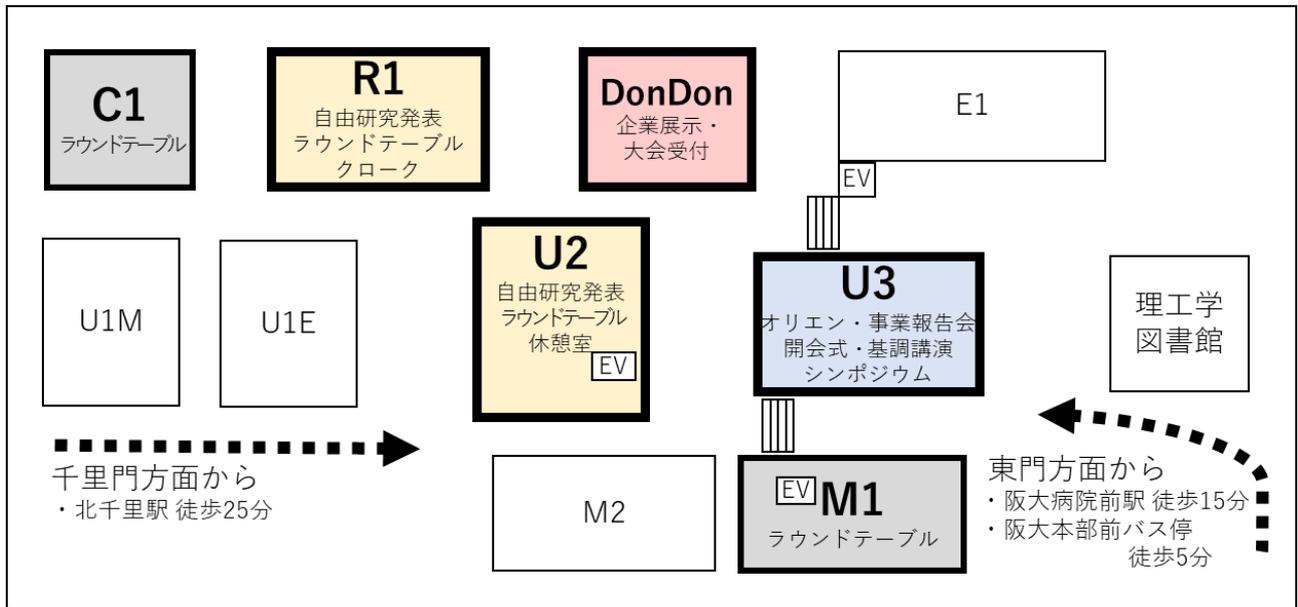
- 大阪メトロ御堂筋線「新大阪」駅～「千里中央」駅  
大阪モノレール「千里中央駅」～「阪大病院前」駅

##### 【大阪国際空港(伊丹空港)から】(約30分)

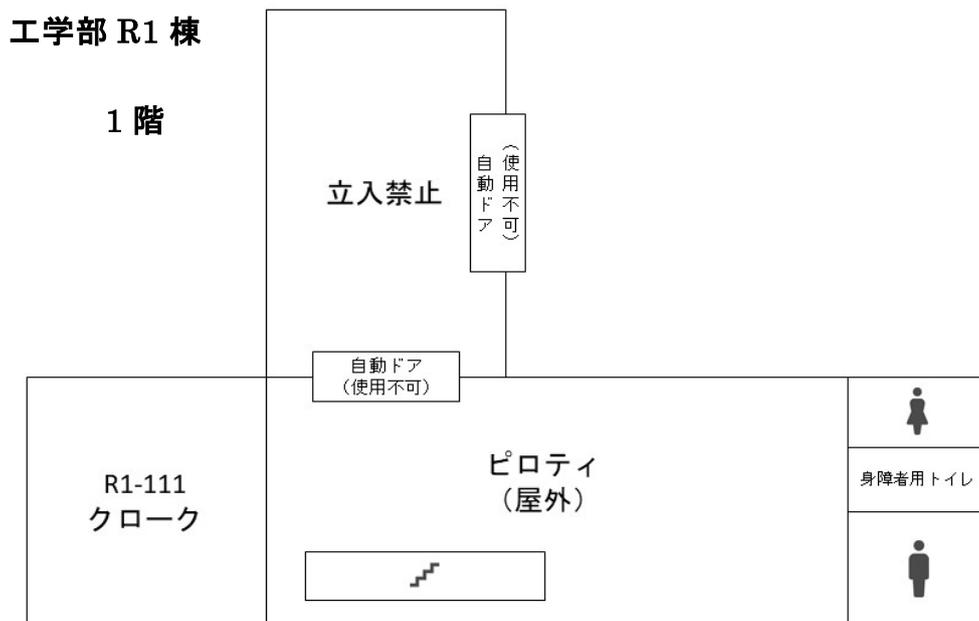
- 大阪モノレール「大阪空港」駅～「阪大病院前」駅



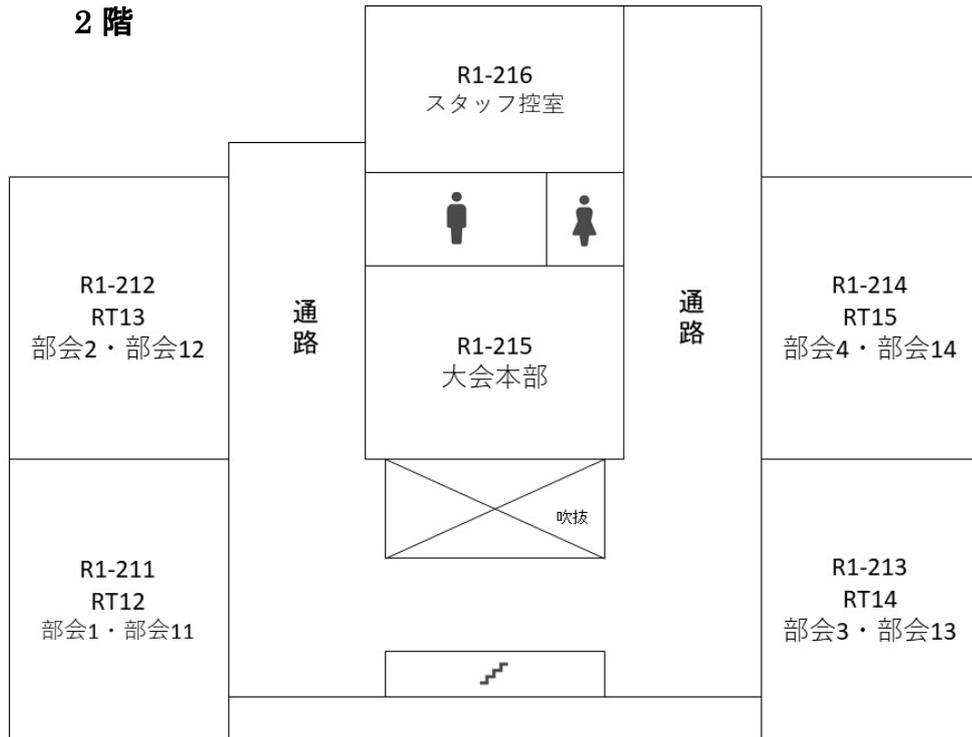
## 【会場マップ】



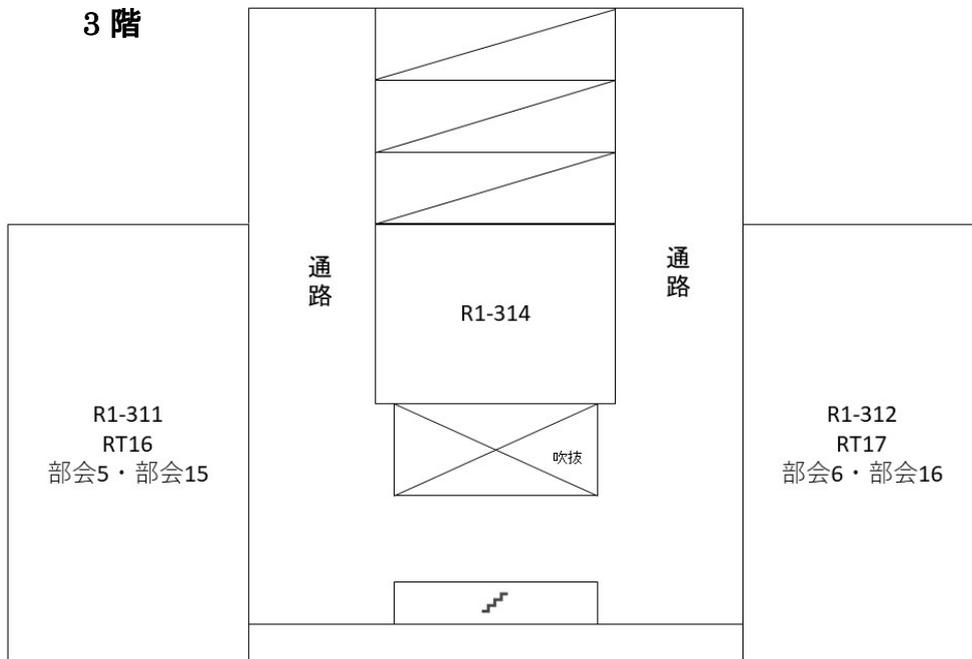
## 【フロアマップ】



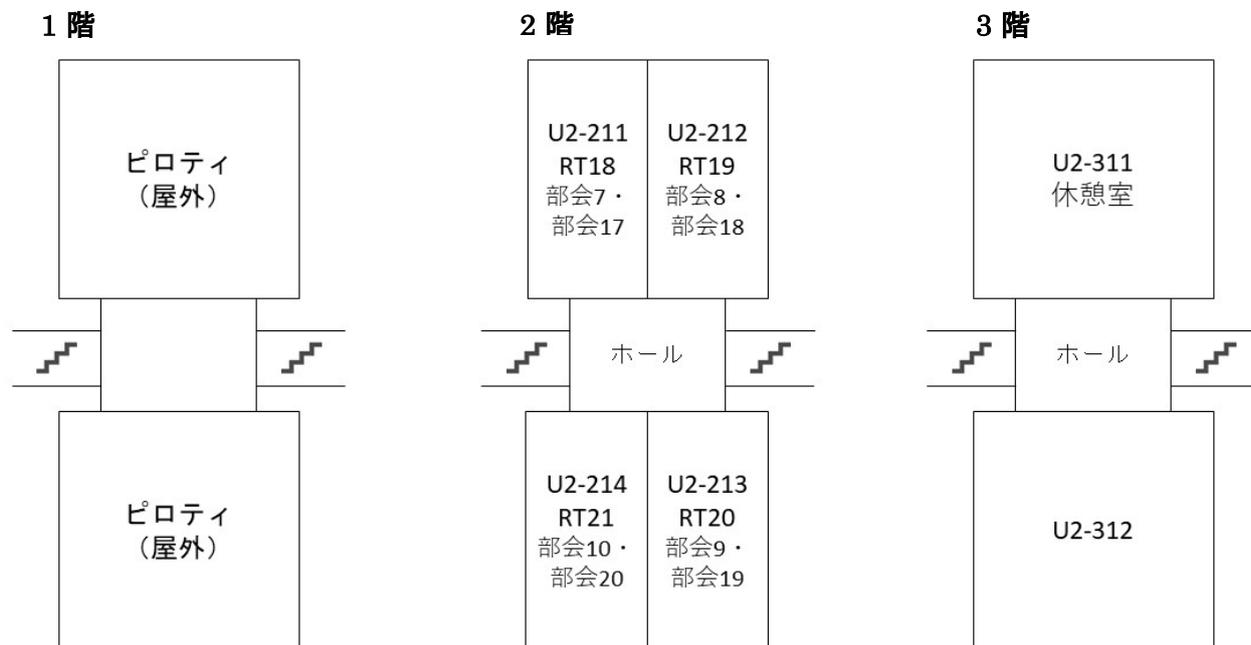
## 2階



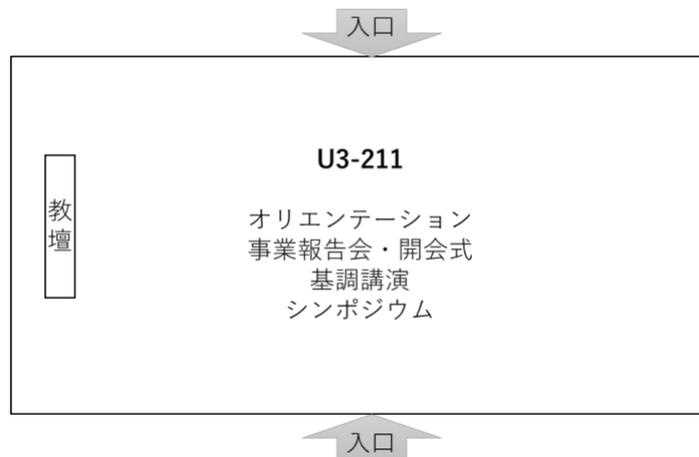
## 3階



## 工学部 U2 棟

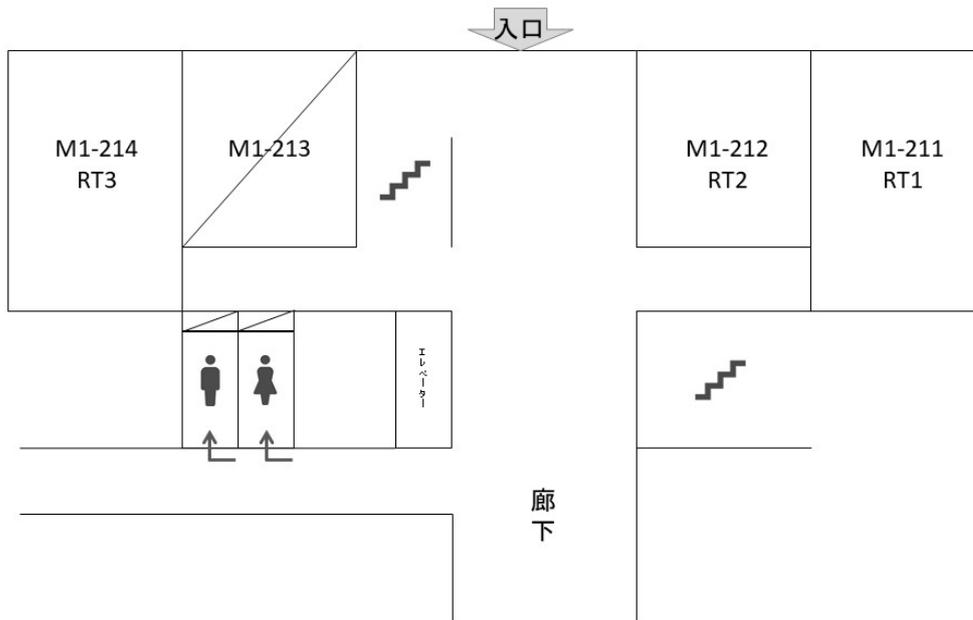


## 工学部 U3 棟

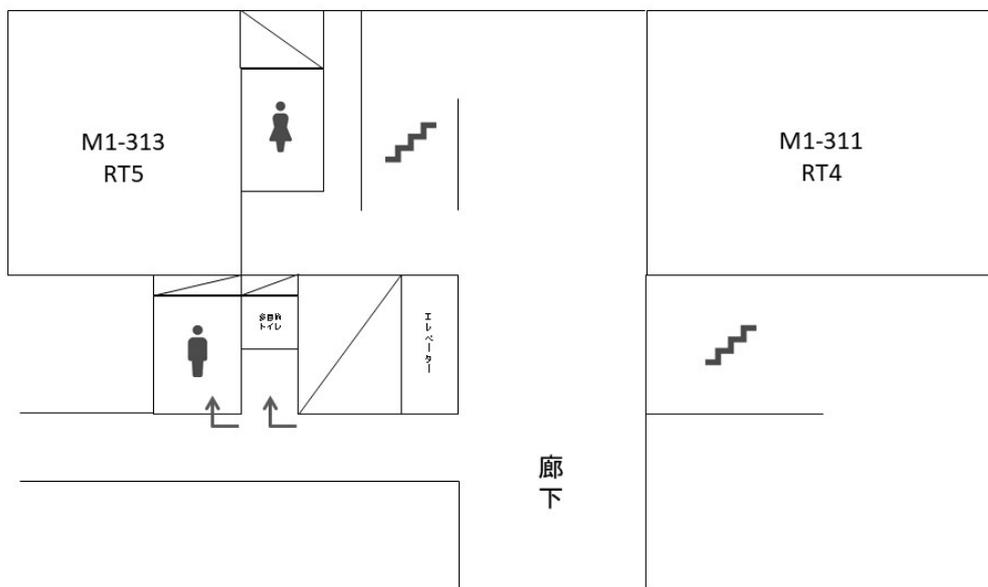


工学部 M1 棟 (ラウンドテーブルのみ)

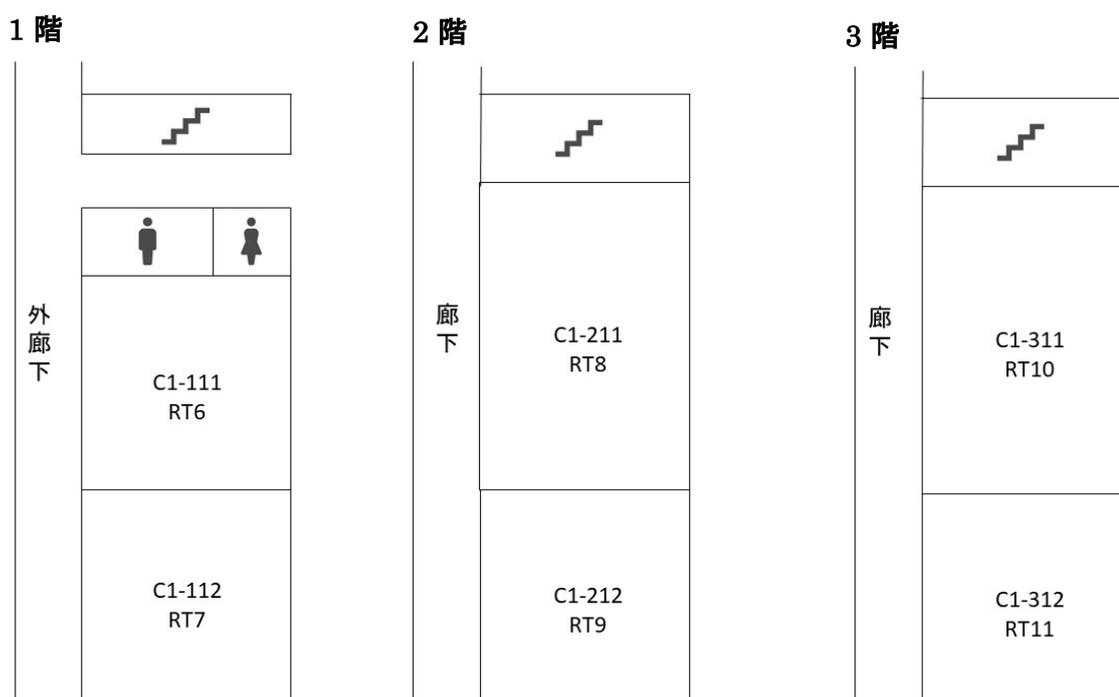
2 階



3 階



## 工学部 C1 棟 (ラウンドテーブルのみ)



### 注意事項

- 大きなお荷物は、クローク (R1 棟 R1-111 教室) にてお預かりいたします。ご利用ください。
- 大学キャンパス内及び近辺には食事処がほとんどありません。土曜日は、学内の生協食堂・セブンイレブンが営業しておりますが混雑が予想されます。そのため、お弁当の注文を推奨いたします。お弁当の注文は 5月12日までといたします。
- 自由研究発表、ラウンドテーブルの会場に、発表用の大会校の PC を準備いたしません。PC を用いる場合は、各自ご準備ください。HDMI ケーブル、RGB ケーブルは各部屋に準備いたします (教室によっては、HDMI、RGB のどちらか片方しかない場合がありますが、その教室には変換アダプタを準備します)。
- ビジター用のアカウント等を用いての会場校の無線 Wi-Fi に接続することはできません。必要な場合は各自でご準備ください。なお、大阪大学は eduroam に参加しております。eduroam 参加校の方で、利用アカウントを取得している場合は、eduroam のサービスをご利用できます。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

### 第45回大会 (2023年度) に関するお問い合わせ

大学教育学会 第45回大会実行委員会

E-mail : [jacue2023@googlegroups.com](mailto:jacue2023@googlegroups.com)

※メールの件名には、「大学教育学会第45回大会に関する問い合わせ」とご記入ください。

## 2023 年度課題研究集会 プログラム案について

2023 年度課題研究集会 企画委員会・実行委員会

2023 年度大学教育学会課題研究集会は、11 月 11 日（土）～12 日（日）の日程で、北陸大学太陽が丘キャンパスを開催校として対面形式（一部オンライン）で開催予定です。企画委員会では、全体テーマを「学習者中心の大学マネジメントを考える」（仮）として、以下のプログラム（案）で準備を進めています。

「ポスター・セッション」は、予稿集原稿の掲載に加え、研究集会当日に対面形式で実施することを予定しております。

### 【プログラム（案）】

11 月 11 日（土） ※1 同時にオンライン中継を予定

10:00 ～ 12:15 ポスター・セッション（対面形式）

12:15 ～ 13:00 休憩

13:00 ～ 13:20 開会行事

13:30 ～ 15:00 基調講演「学習者中心の大学マネジメント（仮）」 ※1

吉武博通先生（東京家政学院理事長）

15:10 ～ 17:00 開催校シンポジウム ※1

テーマ：「学生中心の大学づくりのためのリーダーシップの多層性（仮）」

概要：全学 - プログラム（学部や研究科） - 科目といった大学の重層的な構造にそくしたマネジメントのあり方が問われているが、学生を中心に置いたマネジメントを行うことが重要ではないだろうか。多様なアクター、学生・教員・職員が教学マネジメント・大学マネジメントに関わるような枠組みについて、複数の視点から議論したい。

登壇者：3～4 名の予定（開催校からの登壇者含む）

17:45 ～ 19:45 情報交換会

11 月 12 日（日） ※2 現在募集中の課題研究の採択により、変更の可能性あり

9:30 ～ 12:00 【課題研究シンポジウムⅠ】 / 【課題研究シンポジウムⅡ】 ※2

12:00 ～ 13:00 休憩

13:00 ～ 15:30 【課題研究シンポジウムⅢ】 / 【課題研究シンポジウムⅣ】 ※2

15:40 ～ 16:00 閉会行事

### 【ポスター・セッションについて】

11 月 11 日（土）10 時から 12 時 15 分までの間、対面形式で実施いたします。この「ポスター・セッション」の発表資格や内容等は、大会の「自由研究」と同等とし、予稿集に掲載する原稿を提出していただきます。申込方法、ポスター・セッション当日の発表方法等、詳細は後日会員向け一斉メール及び学会ウェブサイトでご案内いたします。

- ・発表申込期間：2023 年 6 月 30 日（金）～7 月 24 日（月）
- ・発表可否通知：2023 年 8 月下旬 ※発表可否通知メール送信
- ・原稿提出締切：2023 年 9 月 11 日（月）

## ＝理事会便り＝

2023年3月25日に2022年度第4回理事会が開催されました。  
詳細は、ウェブサイトの会員ページに掲載されます。

### ● 2023年度課題研究集会について

2023年度課題研究集会(担当校:北陸大学)は、2023年11月11日(土)・12日(日)の2日間、北陸大学(石川県金沢市太陽が丘1-1、金沢駅より路線バスにて約27分)にて対面形式(一部オンライン)にて開催されます。

ポスターセッションは、11月11日(土)10時から12時15分までの間、対面形式で実施いたします。発表申込期間は、2023年6月30日(金)～7月24日(月)の予定です。

詳細につきましては今後一斉メール、メール通信、ニュースレター等でご案内いたします。

### ● 2023年度新規課題研究の選定について

2023年度新規課題研究は、3月31日を応募期限として再公募されました。厳正な審査を経て、5月中に選定結果が判明する予定です。

2023年度新規課題研究が決定しましたら、大学教育学会ウェブサイト上でお知らせいたします。また、メール通信でもお知らせする予定です。

### ● 第18回大学教育学会奨励賞について

第18回(2022年度)大学教育学会奨励賞は、以下2名の方が受賞されることになりました。

6月3日(土)の2023年度事業報告会(於大阪大学吹田キャンパス)において授賞式が執りおこなわれます。  
山田嘉徳会員(関西大学)

【受賞対象論文】『大学教育学会誌』第44巻2号掲載、《研究論文》「授業改善に向かう大学教員の授業観・教育観の検討—学習者中心の教育の視点から—」

福島由依会員(東京大学大学院)

【受賞対象論文】『大学教育学会誌』第43巻2号掲載、《研究論文》「就学行動の多様化と学士課程間移動—仮面浪人の戦略と保険の逆説—」

### ● 「JACUEセレクション2023」の認定候補について

「JACUEセレクション2023」として以下の3冊が認定候補となりました。

6月3日(土)の2023年度事業報告会において認定式が執りおこなわれます。

- ① 鳥居朋子著(2021)「大学のIRと学習・教育改革の諸相」玉川大学出版部
- ② 西野毅朗著(2022)「日本のゼミナール教育」玉川大学出版部
- ③ 大阪大学高等教育・入試研究開発センター編(2022)「未来志向の大学入試デザイン論」大阪大学出版会

## ＝事務局から＝

### ● 会費納入のお願い

2023年度会費・2022年度迄の会費未納分を含めた会費請求書・郵便払込取扱票については別便の郵送にて送付済みです。また、準備の都合上、既に納付済みの方にも請求書が送付されている場合がございます。ご容赦いただきますようお願いいたします。

納入は、下記オンライン決済をご利用いただけます。また、従来の郵便振替口座をご利用いただくことも可能です。領収書につきましては、下記オンライン発行をご利用ください。

年会費等郵便振替口座 00210-9-102857 「一般社団法人大学教育学会」

また、銀行からのご入金を希望される場合は、入金前に必ず、以下の大学教育学会 学会業務取扱センターまでその旨ご連絡下さい。

#### 【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター

TEL:03-5981-9824、 FAX:03-5981-9852

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

過年度会費の滞納がある場合は、学会誌の発送を見送る措置をとらせていただいております。納入状況は、学会ウェブサイトの会員ページにあります「会員情報の照会・更新」からご自身で確認可能です。また、学会誌への投稿、大会及び課題研究集会での発表申込みは、申込時の当該年度分までの会費が納入済みであることが条件となっております。

### ● 年会費のクレジットカード決済のご案内

2018年度より、年会費のクレジットカードによるオンライン決済ができるようになっております。

同時に領収書のオンライン発行も可能となりましたので、ご利用ください。

大学教育学会ウェブサイト・トップページにある「年会費オンライン決済」のボタンをクリックし、「オンライン決済ログイン」もしくは「領収書発行ログイン」のどちらかを選択します。

#### <オンライン決済の場合>

- ① 会員情報管理認証画面に移行しますので、会員IDとパスワードを入力し、ログインします。
- ② オンライン会議決済のページに移り、会費請求額が示されますので、ご確認の上、決済金額をご入力ください。
  - \* 過年度分の会費が未納になっている方は、「年会費請求額」および「決済金額」を確認してください。
  - \* デフォルトで未納分を合算した請求額を決済金額としていますので、単年度のみを希望される場合は、決済金額を変更してください。この場合、古い年度分から決済されます。
- ③ オンライン決済画面では、決済金額を確認し、クレジットカード情報を入力してください。
  - \* クレジットカード情報等の決済内容は、決済代行会社に送信されるだけで、大学教育学会のサーバーに蓄積されることはありません。また、決済代行会社への通信は、SSL暗号化通信により、通信の秘密は保持されます。
- ④ 未納の会費がない場合は、「未納の会費請求データが見つかりませんでした」と表示されます。

#### <領収書のオンライン発行の手順>

- ① 会員情報管理認証画面に移行しますので、会員IDとパスワードを入力し、ログインします。
- ② 会員情報管理メニューの「年度別に会費を照会する」のボタンをクリックします。
- ③ 年度ごとに納付状況が示されます。領収書の必要な年度の「領収書の発行」ボタンをクリックします。
- ④ 領収書発行の画面の指示に従ってください。

### ● メールマガジンの受信設定のお願い

現在、会員の皆様に年数回、大学教育学会メール通信(メールマガジン)を配信しております。

しかし、受信拒否や宛先不明を理由に返送されてくるメールが多数あります。ご登録のアドレスにおいて jacue.office@gmail.comより送信されましたメールを受信できるよう設定をお願いいたします。

## ● 住所変更等会員情報更新のお願い

ご住所、ご所属や役職等に変更がある方は、速やかに、学会ウェブサイトの「会員ページ」にあります「会員情報の照会・更新」からご自身で変更をお願いいたします。ID(会員番号)・PWを紛失された方は、大学教育学会 学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

定期刊行物は、宅配業者のメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後、事務局へ返送されてまいります。何卒ご協力をお願いいたします。

## ● オンライン検索サービスについて

従来の会員名簿に代わり、会員検索が可能なサービスです。個人会員、団体会員が利用可能です。検索対象は個人会員のみです。

情報検索項目(基本情報)は、【氏名】、【カナ】、【所属先】、【専門領域】の4項目で検索(部分検索)可能です。その他の項目の開示・非開示については、会員本人の選択項目になります。

こちらのサービスを利用される際にも、ID(会員番号)・PWの入力が必要になります。

## ● 学会関連資料のご寄贈のお願い

探究している資料は、以下の通りです。下記学会事務局まで「着払い」でお送りください。

第1回大会発表要旨集録(1979年度)

課題研究集会要旨集録(1981,1985～1987, 1989,1992,1993年度)



---

### 【学会事務局】

〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原2-8-20-204

Tel/ Fax: 042-707-8112

E-mail:office@jacue.org

### 【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2丁目39-2大住ビル401号室

TEL:03-5981-9824、FAX:03-5981-9852

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp